

**国際政策セミナー**  
**「雇用と賃金を考える—労働市場とEBPM（証拠に基づく政策形成）—」**  
 を2019年11月15日（金）に開催します。

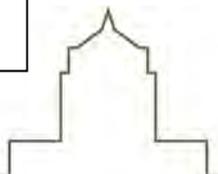
格差や貧困が各国で問題となる中で、我が国でも、その対策の一つとして、最低賃金の引上げが注目されています。国立国会図書館と東京大学大学院経済学研究科附属政策評価研究教育センターは、米国の著名な労働経済学者であるデイヴィッド・ニューマーク氏をお招きして、最低賃金の雇用や所得、そして広範な分野への影響をテーマとする国際政策セミナーを開催します。

日本の専門家を交えたパネルディスカッションでは、「証拠に基づく政策形成（EBPM）」の観点を含めて、労働市場や労働政策の今後について議論します。

<b>日時</b>	2019年11月15日（金）14:00～17:00
<b>会場</b>	国立国会図書館東京本館 新館講堂（東京都千代田区永田町1-10-1）
<b>参加費</b>	無料
<b>定員</b>	300名（先着順。定員に達した時点で申込受付を終了します。）
<b>プログラム</b>	※日英同時通訳付 <基調講演> <b>デイヴィッド・ニューマーク氏</b> （カリフォルニア大学アーバイン校教授） <報告・パネルディスカッション> 報告者・討論者 <b>川口 大司</b> （東京大学大学院経済学研究科教授・東京大学大学院 経済学研究科附属政策評価研究教育センター（CREPE）長） <b>大石 亜希子氏</b> （千葉大学大学院社会科学研究院教授） コーディネーター <b>岩本 康志</b> （国立国会図書館専門調査員・経済産業調査室主任）

- 参加申込** 国立国会図書館ホームページからお申し込みください。  
<https://www.ndl.go.jp/jp/event/events/ips2019.html>  
 または、①講演会名 ②氏名とふりがな ③ご連絡先（電話かEmail）を明記  
 のうえ、FAXを03-3581-2603までお送りください。
- 申込締切** ホームページ、FAX共に2019年11月13日（水）まで

**お問合せ先**  
 国立国会図書館 調査及び立法考査局 調査企画課 連携協力室（担当：竹澤、安藤、春原）  
 TEL: 03-3581-2331（代） FAX: 03-3581-2603 Email: ml-ipseminar@ndl.go.jp



## <登壇者略歴>

### 【基調講演者】

**デイヴィッド・ニューマーク 氏** (カリフォルニア大学アーバイン校教授)

**Professor David Neumark**

ハーバード大学経済学博士。

連邦準備制度理事会エコノミスト、ペンシルベニア大学助教授、ミシガン州立大学教授を経て、2005年からカリフォルニア大学アーバイン校教授。カリフォルニア大学アーバイン校経済的自立支援政策研究所長、全米経済研究所研究員、サンフランシスコ連邦準備銀行客員研究員等を兼務。

専門は、労働経済学、計量経済学。



### 【報告者・討論者】

かわぐち だいじ  
**川口 大司** (東京大学大学院経済学研究科教授・

東京大学大学院経済学研究科附属政策評価研究教育センター (CREPE) 長)  
早稲田大学政治経済学部卒業。米国ミシガン州立大学経済学博士。

大阪大学社会経済研究所講師、筑波大学社会工学系講師、一橋大学大学院経済学研究科助教授 (准教授)・教授を経て現職。

専門は、労働経済学。

おおいし あきこ  
**大石 亜希子 氏** (千葉大学大学院社会科学研究院教授)

慶應義塾大学法学部法律学科卒業。一橋大学大学院経済学研究科博士課程単位取得。

社団法人日本経済研究センター、国立社会保障・人口問題研究所、千葉大学法経学部助教授・准教授等を経て、2011年10月から現職。

専門は、労働経済学、社会保障論。

### 【コーディネーター】

いわもと やすし  
**岩本 康志** (国立国会図書館専門調査員・経済産業調査室主任)

大阪大学大学院経済学研究科修士課程修了。大阪大学経済学博士。

京都大学経済研究所助教授、一橋大学大学院経済学研究科教授、東京大学大学院経済学研究科教授を経て、2018年4月から現職。

専門は、公共経済学、マクロ経済学。

